



第22回アビリンピック京都大会 講評



2025.2.8

【DTP】

競技課題は、「地域のイベント【ピクニック】」の告知チラシの制作でした。

DTPとは、PCを活用して印刷物のデータを作成することです。印刷物は文字や画像の間違があると内容によっては、印刷のやり直しが生じることもあり、印刷部数が多いと大きな損害が発生します。

DTPを仕事として行うには前提として持って頂きたい知識がありますので、再確認をして欲しいと感じました。

今回は、【ピクニック】の告知チラシで、暖かさをとウキウキする気持ちを表現された作品を期待しました。

今回も、テキストを少なく、写真・画像を多く支給しました。取り掛かりは、画像の選び方やバックの配色も綺麗に制作されていました。

残念なのは、テキストの表現が行き届いてなかった点です。文字サイズや配置、読みやすさをもっと考えてほしかったです。

全体の体裁は、中途半端な印象を受けました。画像の使い方は、最初はよかったのですが、仕上げに向けてのまとめ方がうまくできていませんでした。

地図の扱いも支給画像のまま貼り付けられており、チラシとしての扱いに慣れておられないと感じさせられました。

覚えることがたくさんあり、時間がかかると思いますが、今後のレベルの向上を期待しております。

【表計算】

表計算の競技に出場いたしました選手の皆様、関係者の皆様、お疲れさまでした。

今回の表計算の課題は4つの課題を出題いたしました。

【課題1】現金出納帳の表をフォントの設定や罫線などの修飾をおこなう課題でした。

課題1に関して、皆さんは日頃職場などで行っているようで、大変よくできていました。

【課題2】は、課題1で作成した現金出納帳に、計算式や関数を使って表を完成させる課題でした。この問題で使用した関数で、競技者が表計算をどれだけ利用しているかで得点に差が出たと思います。

表計算（Excel）には、多くの関数が用意されており、日頃良く使っている関数は覚えているのですが、あまり使用していない関数が思い浮かばないというところで、点数に差がでたようです。

【課題3】が、今回の大会の課題としては、難解な課題となったと思います。

文字列の分割を行うための関数式を設定する課題でした。課題を解くためには、関数式の入れ子（式の中に式を組み込む）を行わないといけなかったものでした。

ここで、日々表計算をどれだけ使っているかで差が出たようでした。

【課題4】は、割と簡単なグラフを作成する課題でしたので、これは、簡単だったと思います。

今回の表計算の競技者の皆さんは、大変よくできました。順位をつけさせていただきましたが、わずかな点数の差でした。

表計算（Excel）には、多くの関数があります。中には、こんな便利な関数もあったんだ！と思う関数もありますので、これからも勉強を頑張ってください。

最近では、chatGPTなどのAIを利用もできるようになっていますので、Excelの使用がさらに広がってくるのではないかと思います。

今回の大会におきまして、大会スタッフの方々をはじめ、関係者の方々のご尽力により、無事終了しましたことを深く感謝いたしております。今後の選手の方々の仕事や勉学の頑張りを期待しております。





【ビルクリーニング】

ビルクリーニング部門に出場された選手の方、朝からの競技お疲れ様でした。

弾性床競技 タイムは全選手良く練習をされたと思います。課題の弾性床清掃では手順通り全ての選手が競技をされ専門委員が採点が難しいと感じてましたが、モップ作業、机清拭で厳しくチェック致しました。

カーペット競技は練習の成果が一番でたと思います。選手の中にはゴミを踏んでしまう、掃除機が全面出来てない厳しい採点になりました。

採点で重視した点は、姿勢、掃除機のヘッドの重なり具合、安全な作業です。

全国大会ではカーペット競技で上位に入れば入賞に近づくと考えております。その位カーペット競技は難しく練習が必要だと思います。

10月愛知県で行われる全国大会はレベルの高い戦いになると思います。

今回金賞を取られた選手は今まで以上に練習を重ね全国大会で最高のパフォーマンスを出して下さい。

今回惜しくも入賞されなかった選手の方、これまでの経験は必ず何処か役に立ちます。タオルの持ち方、掃除機の掛け方、普段の生活に有る物です忘れないで下さい。

【喫茶サービス】

規定競技では1組のお客様に対してお迎えからオーダーテイク、サービス、お見送り、テーブルリセットの流れを1名の選手が行なうという競技でした。また自由競技は複数の来店客に対し複数の選手がランダムに接客するのが課題でした。

各々と観点が違い、規定競技は笑顔から始まり、サービスの姿勢やテーブルセッティング、サービスをする方向などの個人の基本動作を見ますが、自由競技は店舗としてのサービスの流れを第一とするためスタッフ同士がチームとして動いているか、チームとして動く努力をしているかを重視します。

今回の選手の皆さんの規定競技はサービスの基本としての笑顔に努め、オーダーテイクもスムーズで普段の練習の成果が発揮されていました。少しバラツキがあったのはテーブルサイドでの立ち位置やサービスの方向などが統一されていない選手が散見され、練習段階で基本のスタイルを身に付ける研究をしてほしいと感じました。

次の自由競技は、最初に要領を伝えていたとおり皆さんチームプレーを考えて行動している様子で、ランダムに入って来るお客様に戸惑うことなく選手同士が互に進んで作業に当たっていました。選手がトレイ上でグラスを倒してフロアに水をこぼしたアクシデントが発生しましたが、すぐに他の競技者がフォローに入る「チームプレー」が成り立っていたのは素晴らしいことでした。

但し入店してくるお客様に対してその場で立ったままの「いらっしゃいませ」ではなく、自分からお客様を迎えに行く姿勢を持つことが大切です。

皆さんも普段から食堂や喫茶に入った時には、サービスを観察する目を持つよう努力してください。「良い接客」と「感心しない接客」を見極める目を養ってください。それぞれのステキなサービスをありがとうございました。

最後に今回のアビリンピック大会の準備、実行に関わられたスタッフの皆さんのご協力に重ねて感謝いたします。





【パソコン操作】

視覚障害者のパソコン操作の特徴は、画面内に入力されている文字やキーボードを用いて入力した文字、選択しているメニュー項目の名前などを読み上げる「画面読み上げソフト」、これらの文字などを大きく表示する「拡大ソフト」を活用しながら、マウス操作ではなく、主にショートカットなどキーボードを用いて操作することです。

今回の競技の課題は、表計算ソフトを使った課題と、インターネット検索、そして漢字変換の間違いなどを探す文書校正の3つでした。

表計算ソフトを使った課題は、23年度の社員名簿をもとに、追加や削除などの変更を加え、それを元に基本的な関数を用いて集計していくという内容でした。変更箇所は、別に用意されたテキストファイルを確認しながらの作業で、晴眼者にとってはごく基本的な内容ですが、ファイル内の全体像がすぐに把握できない視覚障害者にとっては、集中力を要する内容でした。

インターネット検索の課題では、ページに、正確に早くアクセスできるか、そのページ内で適切な個所を探することができるかがポイントでした。

関数の記述内容や、検索問題での適切な解答から、参加された選手の技能や努力を十分感じることができました。

最後の文章校正の課題は、音声を聴きながら変換間違い等を探していくという課題でした。今回初めての出題でしたが、出場された皆さん、普段から集中して音声を聴くということに意識されているのでしょうか。ほとんどの方がクリアされていました。

今回出場された皆さんが、今後も継続してパソコンスキルを向上させていくことで、一人でも多くの視覚障害者が就労に結びついていくことを願っています。

【紙箱組立（貼り箱）】

今回の紙箱組立に出場する予定であった4名が雪のため欠場することになり、残念ながら1名のみの競技となってしまいました。

この競技は城陽専門校で訓練した紙器製造の成果を発揮できる場として第1回から出場してきました。

今回も全員が修了生で皆それぞれ違う職種で働いていますが、1年間の訓練で習得した技能や仕事への取り組み姿勢を忘れずに出場して製品を作ってくれることに指導してきた喜びを感じます。

来れなかった4名含めてこれからもそれぞれの職場で活躍してくれることを願っています





【製品パッキング】

製品パッキング競技は、京都で今回が初の試みとなりました。審査員である私は、段ボールや紙製品の製造を生業としており、日頃より段ボール品に触れ、慣れておりますが、今回の課題を知ったとき、『本当にこの課題が出来るのだろうか?』と不安になるぐらい難しいものでした。パッケージのプロでさえも困惑するような課題ではありましたが、参加していただいた2名の選手は、限られた時間の中で精一杯のパフォーマンスを見せていただきました。おそらく練習材料や時間もままならない状況での大会だったと思いますが、審査している私が、一生懸命挑戦している姿に本当に感動しました。競技である故、時間制限がある中で丁寧にやり時間が掛かりすぎてもいけません。また早くても不適合品ではいけません。組み立て方法や、組み立てる順番、しっかりとプランを立てて行う必要のある大変難しい競技であると思いました。製品パッキング競技としては、沢山練習できる時間と環境があれば、もっと高いレベルで挑戦していただけるのではないかと感じました。次回大会にはより多くの選手に出場していただき、競技レベルの向上を期待しております。

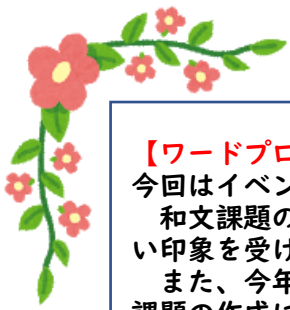
【オフィスアシスタント（スタンダード）】

「発送書類の封入作業」と「社内便の仕分け作業」の2課題を実施しました。将来的に全国大会を目指していけるような競技内容と競技時間に設定して実施されました。「印刷不良を取り除く」「折ずれやシワが出ないように注意する」「2種類の封入内容をリストに沿って仕上げる」「郵便物の宛先を正確に部署ごとに仕分ける」など、どちらも正確かつ丁寧な作業に加えて、スピードも求められる競技です。また、今年度は「発送書類の封入作業」でA3書類を片袖折りにして、数種類の書類を封入する指示でしたが、皆さん上手く対応していただきました。当日は、大雪となり競技の実施が危ぶまれる中、集中して頑張ってくださいました。競技結果は金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、努力賞1名です。選手の皆さんには、今回の競技に参加した経験をいかし、更なるレベルアップを目指していただきたいと思います。

【オフィスアシスタント（アドバンス）】

今回も「発送書類の封入作業」と「社内便の仕分け作業」の競技を行っていただきました。「発送書類の封入作業」は、CDのラベルシール貼りを追加しました。また、「社内便の仕分け作業」は、仕分けする部署の数や、宛名の検案件数を増やすなど昨年よりも更に複雑で細かい作業を要する内容としました。選手の皆さんは、大会までの練習にて、作業を効率よく進めていけるよう手順や書類位置を変えるなど色々と工夫して参加されており、皆さんの対応力にはいつも感銘を受けております。当日は、大雪等で競技に集中することが困難な中、一生懸命取り組んでいただき、競技結果は、金賞1名、銀賞1名、銅賞1名、努力賞1名となりました。アビリンピックは競技ですので、競技の結果も大切ですが、自分の目標に向けた日々の頑張りやチャレンジする勇気も同様に大切だと思います。これからも、更なる高みを目指して頑張ってください。本日の競技を今後の皆さんのお仕事や学校での活動等に生かしていただければ幸いに思います。ご参加いただきまして有難うございました。





【ワードプロセッサ】

今回はイベントの広報資料を和文、説明資料を英文で作成する課題でした。

和文課題の文章入力については、日頃から練習されている成果もありよくできていました。英文課題の文章入力については和文ほど入力に慣れていない印象を受けましたので、和文だけでなく英文の入力にも力を入れるとよりスキルアップできると思います。

また、今年度から Word が Windows11 に合わせてバージョンが変わっており、初期状態から設定変更が求められる状態となっていました。

課題の作成において、図形や画像を入力するスキルや段組みやインデント等を使用してレイアウトを設定するスキルは当然必須となりますが、各種設定を変更できる能力も習得することでより早く、より正確に文書を作成できるようになります。

この講評をもとに更にレベルアップすることを期待しています。

課題作成中にご自身で感じた改善点もあるかと思いますが、慣れない環境下、限られた時間の中で精一杯頑張られたことと思います。

大変お疲れさまでした。

【パソコンデータ入力】

課題1のアンケート入力では、効率的に入力できるように入力する項目の順番を変えるといった工夫がみられたことや、20分間で約330項目を入力された方もおられ、レベルの高い争いとなりました。出場者の皆様の練習の成果が表れていたと思います。

データ入力で一番大切なことは正確さです。正確に入力するためには正しい指使いを身に付ける必要があります。そのためには、キーボードを見ずにアルファベットあるいは平仮名を入力する基本練習がとても大切です。練習では早く入力することよりも、正確に入力することを意識してください。練習時間は競技と同じ1日20分間、毎日集中して練習すると効果的です。

課題3の帳票作成は、昨年に比べると指示書を読まずに作成されている方は減っていましたが、何人かはおられました。仕事において指示通りに、正確に作成することは、とても重要です。そのためには、関数の指定、表示形式や罫線の設定など帳票作成に必要な技術を身に付けると同時に、指定されたセルに正しく設定することが必要です。練習では、各種設定方法を繰り返し練習することに加え、入力したセルに間違いがないかを確認するなど、正確に入力・設定する工夫をするとよいと思います。

【電子機器組立】

電子機器組立競技に出場された選手の方、長時間の競技お疲れ様でした。技能検定2級課題に則した課題で競技を実施しました。競技中、終始落ち着いて作業に取り組まれていたのが印象的です。正確で素早く作業をこなしており、これまでの練習の成果がうかがえました。本課題の成果物として十分な出来栄であったと思います。

本課題では、製作物の一部は事前課題として予め製作する形式でしたが、技能検定2級や、全国大会の課題では事前課題の部分についても制限時間内の製作が求められ、より早く作業を進めることが必要になります。その場合は、多くの部品をまとめてはんだ付けするためにテープを使用するなどして工具の持ち替えを減らすことを検討するとよいでしょう。また、出来栄については、表面実装部品の電極が載るランド面全体をむらなくはんだでぬらすよう意識されるとさらによくなるかと思います。

今回の結果に自信を持って、更なる技能の向上に挑戦いただくのも一つかと思います。こうした日々の積み重ねや、目標を持ってものごとに取り組む経験を今後の生活やお仕事に活かしていただければ幸いです。

